

本別町地域公共交通活性化協議会における地域公共交通確保維持改善事業の概要

事業実施の目的・必要性

本別町は、北海道十勝東部に位置し、面積は391.99km²、人口約6.2千人の農業が基幹産業の過疎地域であり、人口の減少に伴い、地域内におけるバス利用者は減少傾向にある。しかし、町民や町外からの利用者の足の確保を図るための地域公共交通の整備は、地域における市街地商店街の活性化や通院患者等の移動の確保の面からも、大変重要な課題である。

町国保病院の郊外移転に伴い運行を開始した循環バスは、通院のみならず買物等の生活利便性を図るコミュニティバスとしての機能を向上させ、かつ地域間幹線系統との接続を充実させることにより、町民が安心して暮らせる交通環境を確保することを目標に、運行方法等の工夫により将来にわたり持続可能な公共交通サービスを行うことを目指し、生活交通ネットワークの構築を進めているところである。

生活交通確保維持改善計画の目標

○通院時の利便性を確保しながら、生活面の利便性の向上を図るように運行計画を見直し、コミュニティバスとしての機能を向上させるとともに、将来にわたって町民が安心できる暮らしを支える公共交通を確保する。

○広報活動の充実を図り、着実な利用の定着化とともに、町民が安心して誰もが利用しやすい環境の整備に努め、利用者増を目指した取り組みを行う。

< 具体の目標値 >

◆太陽の丘循環バス利用者数

⇒令和6年度目標値：年間8,432人

令和6年度事業概要

太陽の丘循環バス（全路線平日のみ運行、運賃は100円、割引制度あり）

○南回り(年610回) 町国保病院～南地区～本別道の駅～町国保病院

○北回り(年610回) 町国保病院～北地区～本別道の駅～町国保病院

○直行便(年90.5回) 町国保病院～活性化センター～本別道の駅

○南大回り(年362回)町国保病院～南地区～本別道の駅～北地区～町国保病院

○北大回り(年362回)町国保病院～北地区～本別道の駅～南地区～町国保病院

地域公共交通の現況

- ・十勝バス(株)（地域間1路線）
- ・本別浦幌生活維持路線（地域間1路線）※R6.4.30廃止
- ・町営バス（太陽の丘循環バス8路線※R6.7.1より2路線、へき地患者輸送バス5路線、町有バス7路線）
- ・スクールバス（7路線）

協議会開催状況

- 令和6年5月29日（書面協議）
 - ・地域内フィーダー系統確保維持対策変更認定申請について
- 令和6年6月19日（書面協議）
 - ・地域公共交通計画の認定について
- 令和6年12月20日
 - ・地域公共交通計画施策評価・見直しについて
 - ・自家用有償旅客運送の登録事項一部変更について
- 令和7年1月6日（書面協議）
 - ・地域公共交通確保維持改善事業 事業評価について

○近道便南北回り(年181回)町国保病院～活性化センター～本別道の駅～(利用者に応じて)南北地区～町国保病院

○近道便南回り(年362回) 町国保病院～活性化センター～本別道の駅～(利用者に応じて)南地区～町国保病院

○近道便北回り(年362回) 町国保病院～活性化センター～本別道の駅～(利用者に応じて)北地区～町国保病院

※R6.7.1よりダイヤ改正し南回り・北回りは2便/日から4便/日、その他の便は廃止

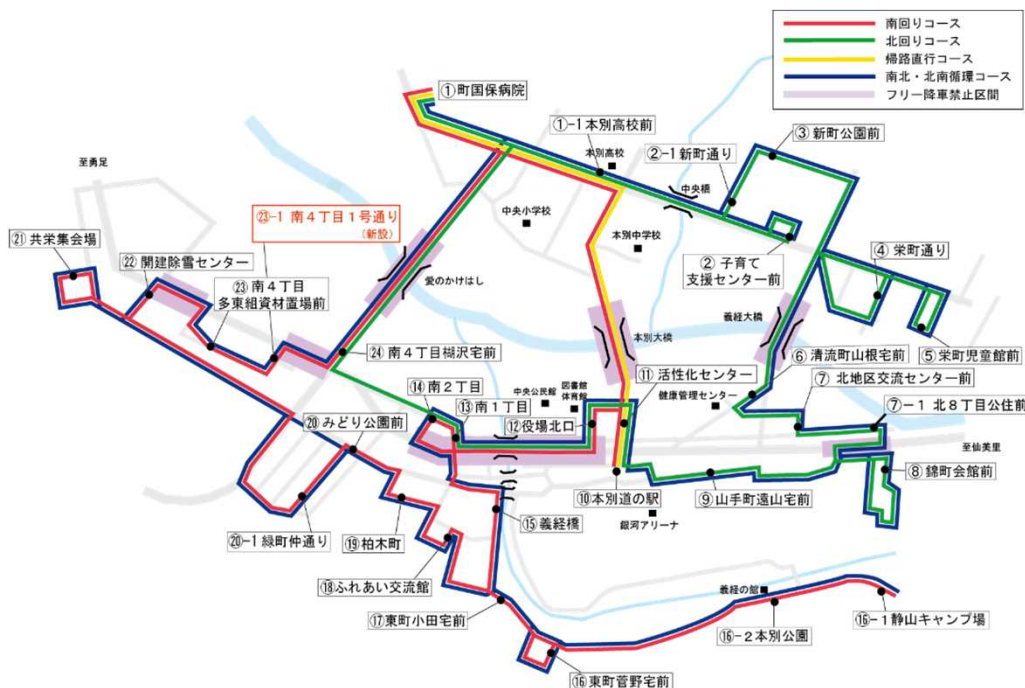
令和6年度事業の実施状況

1) プロセス、創意工夫

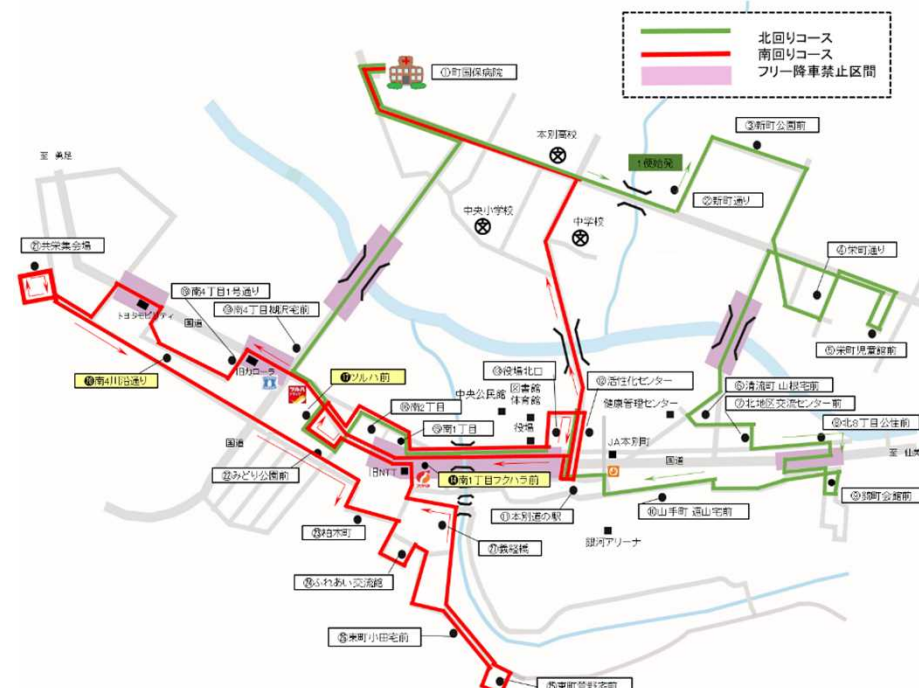
- ・利用者ニーズに応じた運行ダイヤの見直し
(地域公共交通計画アンケートや乗降調査等の結果による)
- ・循環バスマップの町ホームページへの掲載
- ・感染予防対策の実施(車内の消毒等)

2) 運行系統

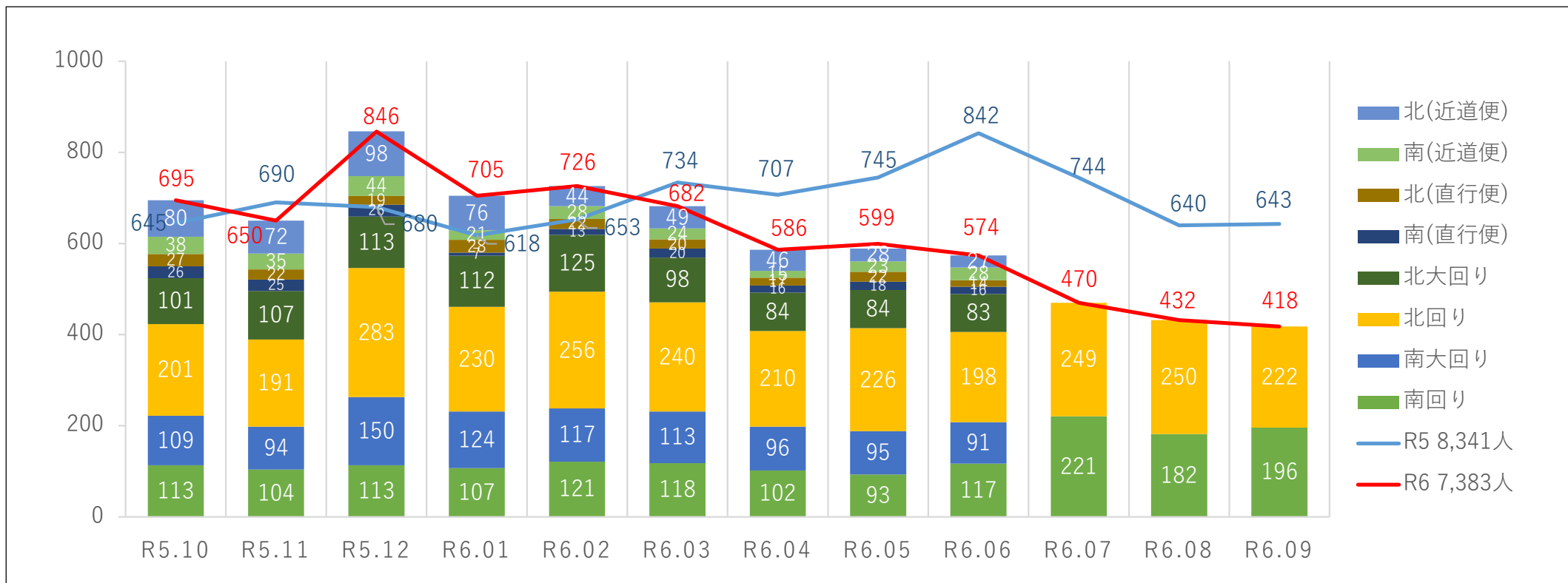
R5.10～R6.06



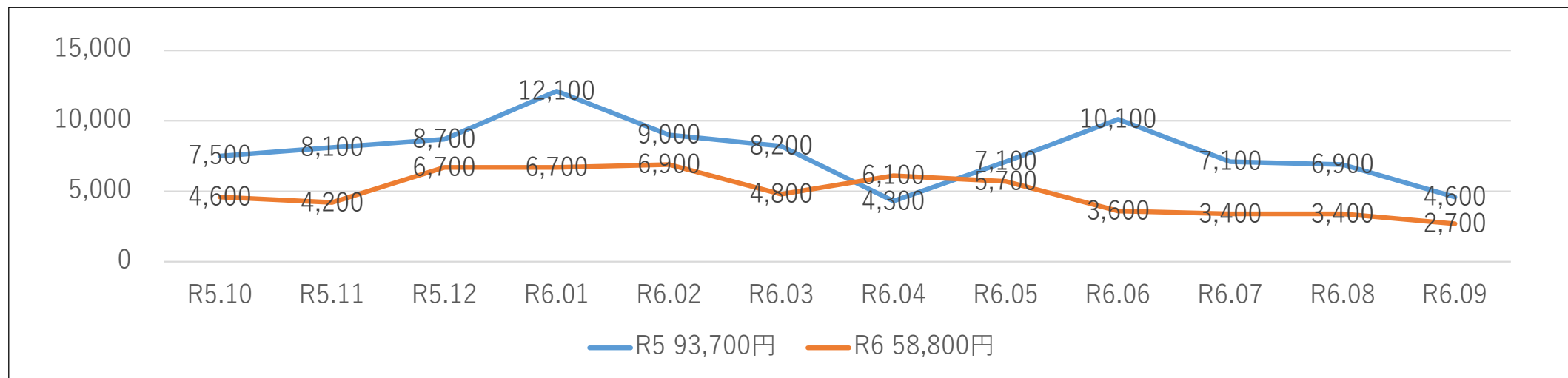
R6.07～R6.09



3) 利用実績



4) 収入実績



5) 事業実施の適切性

○計画通り事業は適切に実施された。

7) 事業の今後の改善点

昨年度同様、目標に対する実績が大幅に減となったが、依然として町民が外出を自粛していることや運転免許証非所有者にハイヤーチケットを助成する制度が普及したことが影響したと考えられる。利用者のニーズについて十分に調査研究し、施策の内容について町民へ周知徹底を図るなど、利用者が安心して利用できるよう取り組みを進める。

6) 目標・効果達成状況

利用者数は年間目標8,432人に対し、7,383人であった。
(1便当たり利用者 2.51人【前年度比▲0.02人】)

8) 地方運輸局等における二次評価結果

- ・自己評価のとおり、事業は適切に実施されている。
- ・目標を達成することができなかったが、引き続き利用者ニーズの把握に努め、利用促進につながる取組が実施されることを期待する。
- ・持続可能な公共交通を維持する観点から、収支率といった事業効率の改善につながる目標を設定することもご検討いただきたい。